

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Sakaguchi M., Kubota Y., Otsuka M., Sekine Y., Consideration on success factors for deploying Health Support System at a community pharmacy using qualitative Research Method, *Pharmacy Society of Japan*, 10(1), 124-130(2018).
- 2) 久保田洋子, 岩佐祐希, 医薬品・医療機器の法律実務, *法律のひろば*, 70, 30-38(2018).
- 3) 久保田洋子, SHELL(Support Health care, Education and Learning, Lab)～健康情報拠点としての薬局機能のリエゾンサービス～のモデル構築, *2017 杉浦地域医療振興助成報告書*, 7, 42-43(2017).
- 4) 久保田洋子, SHELL(Support Health care, Education and Learning, Lab)～健康情報拠点としての薬局機能のリエゾンサービス～のモデル構築に向けて, *2016 杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成報告書*, 7, 28(2016).
- 5) 久保田洋子, 臨床系教員（実務家教員）のこれから, *埼玉県薬剤師会雑誌*, 7, 20-22(2016).
- 6) Ohmoto M., Takahashi T., Kubota Y., Kobayashi S., Mitsumoto Y., Genetic influence of Dopamine receptor, Dopamine transporter, and Nicotine Metabolism on smoking cessation and nicotine dependence in a Japanese population, *BMC Genetics*, 15(1), 151(2014).

[総説]

- 1) 久保田洋子, コラム「適正な医薬品の使用について」, 鴻巣市データヘルス計画, (2017).
- 2) 久保田洋子, 海外留学生薬局研修受け入れ奮闘記Ⅲ, *東京都薬剤師会雑誌*, 36(4), 37-41(2014).
- 3) 久保田洋子, 海外留学生薬局研修受け入れ奮闘記Ⅱ, *東京都薬剤師会雑誌*, 36(2), 14-16(2014).
- 4) 久保田洋子, 海外留学生薬局研修受け入れ奮闘記Ⅰ, *東京都薬剤師会雑誌*, 36(12), 48-51(2013).

[著書]

- 1) 久保田洋子（分担）, ここが知りたかった 薬局で気づく疾患シグナルー見分け方とつなぎ方, 南江堂, 19-29(2018).
- 2) 久保田洋子（編集, 分担）, いきいきと暮らすために, 勇美記念財団, 9-20 (2018).
- 3) 久保田洋子（分担）, 薬学生のための実務実習事前学習テキスト 改訂第2版, ネオメディカル, 209-214(2017).
- 4) 久保田洋子（分担）, 病棟に行く前に知っておきたい Common Disease（分担）, じほう, 58(6), 123-167, 368-377, 448-460, (2016).
- 5) 久保田洋子（分担）, コンパス 調剤学 改訂第2版（分担）, 南江堂, 239-258(2015).
- 6) 久保田洋子（分担）, 薬剤師国家試験対策参考書 ⑨実務〔改訂第5版〕（分担）, 薬学ゼミナール, (2015).
- 7) 久保田洋子（分担）, ここが知りたかった OTC 医薬品の選び方と勧め方（分担）, 南江堂, 215-234 (2013).

[その他]

- 1) 久保田洋子（編集, 分担）, 実務実習事前学習書, 中央プリント, 1-116, 180-229(2017).

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Kubota Y., Murahashi T., Arai K., Doi T., Anzai K., Humanism education utilizing Active Learning ~Problems of Life and death in medical care~, The 77th World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, International Pharmaceutical Federation FIP, September, Soul (2017).
- 2) Kubota Y., Maida C., Takano K., Ohmoto M., Oyama O., Nomura M., Nakagawa T., Miura M., Build The Highly advanced medical technology education program, 7th Asian Association of Schools of Pharmacy Conference, October, Taiwan (2015).
- 3) Kubota Y., Nomura M., Miura M., HOKURIKU UNIVERSITY Faculty of pharmaceutical Science, 3rd Asian Association of Schools of Pharmacy Pharmacy Dean Forum, June, Tokyo (2014).
- 4) Kubota Y., Maida C., Takano K., Ohmoto M., Oyama O., Nomura M., Nakagawa T., Hazama K., Miura M., Build a Pharmacy education as medical specialist~from the six-year system of Pharmaceutical Sciences education to the lifelong education~, 6th Asian Association of Schools of Pharmacy Conference, November, Singapore (2013).

[国内学会]

シンポジウム

- 1) 久保田洋子(オーガナイザー), 飯嶋久志, 宮東 剛文, 初田 泰敏, 大内 ひろ子, 医薬品情報教育のこれから ~教育から臨床現場へ~, 第 20 回 日本医薬品情報学会 総会・学術大会シンポジウム, 6 月, (2017).
- 2) 大室弘美, 猪川和朗, 斎藤充生, 榎本博雄, 久保田洋子(シンポジスト), 審査報告書とリスク管理計画書で読み解く添付文書~薬局における添付文書と関連資料の活用~, 第 19 回日本医薬品情報学会 総会・学術大会 シンポジウム, 6 月, 東京(2016).

一般発表

- 1) 久保田洋子, 村橋毅, 土井良孝, 荒井健介, 樋口敏幸, 安西和紀, ヒューマニズム教育プログラムの構築と課題~アクティブラーニングの導入, 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢(2018).
- 2) 渡部雅俊, 横山俊介, 松村久男, 藤原邦彦, 榎原幹夫, 久保田洋子, 少子高齢社会における薬剤師の新しい役割~口腔機能の測定~, 第 27 回日本医療薬学会年会, 11 月, 幕張(2017).
- 3) 久保田洋子, 佐古兼一, 松村久男, 有富桂子, 松田佳和, 藤原邦彦, 日本薬科大学における「プレ教育」の取り組み~プレ教育から実務事前学習へ~, 日本薬学会第 137 年会, 3 月, 仙台(2017).
- 4) 宇佐見則行, 櫻井七恵, 坂本明音, 瀬戸勇貴, 沢田遼多, 田中啓太, 山本理沙, 中市脩, 堀本孝典, 荒井國三, 久保田洋子, 養護教諭および学校薬剤師に対する新たな「薬物乱用防止教育法」の指導者研修, 第 50 回日本薬剤師会学術大会, 10 月, 東京(2016).
- 5) 田中啓太, 坂本明音, 櫻井七恵, 瀬戸勇貴, 沢田遼多, 山本理沙, 中市脩, 堀本孝典, 荒井國三, 久保田洋子, 宇佐見則行, クリッカー(授業応答システム)を用いた「薬物乱用防止教育」における双方向授業の実践(その3), 第 50 回日本薬剤師会学術大会, 10 月, 東京(2016).
- 6) 加瀬裕也, 松村久男, 岩崎光, 飯田美奈子, 加来鉄平, 斉藤博, 村橋毅, 久保田洋子, 藤原邦彦, 松田佳和, ボルテックス懸濁法による錠剤・カプセル剤の短時間崩壊懸濁性および経管栄養チューブ通過性に関する研究, 日本病院薬剤師会関東ブロック第 46 回学術大会, 8 月, 千葉(2016).
- 7) 久保田洋子, 野村正明, 高瀬久光, 尾山治, 大本まさのり, 杉山朋美, 興村桂子, 岡本晃典, 毎田千恵子, 荒川由紀美, 佐藤栄子, 北陸大学における『プレ実務実習』の取り組み~第Ⅲ報~, 日本医療薬

学会第 136 年会, 3 月, 横浜(2016).

- 8) 久保田洋子, 中野将志, 南角明歩, 笠羽平誉, 石井里佳, 杉山朋美, 毎田千恵子, 北山朱美, 薬学生の緊急・災害時に対する意識と教育に関するアンケート調査, 第 25 回日本医療薬学会年会, 11 月, 横浜(2015).
- 9) 高橋喜統, 山口加代子, 多賀允俊, 野村正明, 尾山治, 久保田洋子, 高瀬久光, 大本まさのり, 岡本晃典, 毎田千恵子, 丹羽修, がん患者との関わりに不安を持つ学生に対するがん治療に関する知識および技術の向上を目的とした講義の学習効果, 第 25 回日本医療薬学会年会, 11 月, 横浜(2015).
- 10) 大久保 節子, 大久保 正, 田中 真理子, 大久保 七枝, 久保田 洋子, 大久保 美穂, アキシチニブの臨床的投与量と血中濃度に関する考察と TDM の必要性, 第 24 回日本医療薬学会年会, 9 月, 名古屋(2014).
- 11) 毎田千恵子, 秋山滋男, 中田いちこ, 宮東利恵, 武藤浩司, 岡村正夫, 興村桂子, 久保田洋子, 西尾浩次, 磯野淳一, 宮本悦子, テオフィリン徐放ドライシロップにおける簡易懸濁時の溶出性の検討, 第 24 回日本医療薬学会年会, 9 月, 名古屋(2014).
- 12) 杉山朋美, 久保田洋子, 野村正明, 高瀬久光, 尾山治, 大本まさのり, 杉山朋美, 興村桂子, 岡本晃典, 毎田千恵子, 荒川由紀美, 佐藤栄子, 北陸大学における『プレ実務実習(学生支援プロジェクト)』の取り組み～第Ⅱ報～, 日本薬学会第 134 年会, 4 月, 熊本(2014).
- 13) 喜来望, 早川陽子, 渡邊文之, 神林弾, 岡田浩, 久保田洋子, 寺田佳世, 後町陽子, 亀井美和子, 土橋朗, 西村香苗, 藤田健二, 諸外国の大学における薬学教育の比較から見えてくるもの～8ヶ国の比較研究～, 日本薬学会第 134 年会, 4 月, 熊本(2014).
- 14) 佐藤優子, 佐島進, 倉田香織, 久保田洋子, 松下良一, 日向彰, 神林弾, 岡田浩, 喜来望, 亀井美和子, 土橋朗, 西村香苗, 藤田健二, スウェーデンにおける地域薬局を取り巻く環境と機能に関する調査研究, 第 7 回日本薬局学会学術総会, 11 月, 大阪(2013).
- 15) 大久保節子, 大久保 正, 田中 真理子, 大久保 七枝, 久保田 洋子, 大久保 美穂, 乳酸脱水素酵素(LDH)活性を腎癌病態の指標として服薬指導を行った 1 例, 第 23 回日本医療薬学会年会, 9 月, 仙台(2013).
- 16) 杉山朋美, 久保田洋子, 野村正明, 尾山治, 大本まさのり, 杉山朋美, 興村桂子, 岡本晃典, 毎田千恵子, 荒川由紀美, 佐藤栄子, 学部教育専門プロジェクト(学生教育支援プロジェクト) ～『プレ実務実習』の実施と今後～第 21 回クリニカルファーマシーシンポジウム/医療薬学フォーラム 2013, 7 月, 大阪(2013).

他 12 件

その他の発表

- 1) 久保田洋子(講師), いきいき大学伊奈学園「健康長寿を考える」, 11 月, 埼玉(2017).
- 2) 久保田洋子(講師), 公益財団法人いきいき埼玉 健康セミナー
第 3 回 健康長寿の秘訣, 11 月, 埼玉(2017).
- 3) 久保田洋子(講師), 平成 28 年度千葉県登録販売者生涯学習,
『うおの目・たこ・いぼ』, 7 月, 千葉(2016).
- 4) 久保田洋子(講師), 上尾公民館
「受ける介護・する介護～お薬との上手な付き合い方～」, 10 月, 日本薬科大学(2016).
- 5) 久保田洋子(講師), 石川県津幡町健康まつり,
「ファルマシアンカフェ・災害時の避難所 HUG」, 10 月, 石川(2016).
- 6) 久保田洋子(講師), 福井県薬剤師会,

「訪問指導薬剤師研修事業・無菌調剤室共同利用講習会」、12月、金沢(2015).

7) 久保田洋子(講師), 石川県薬剤師会・北陸大学薬学部主催,

「高度先進医療薬剤師講座・フィジカルアセスメントコース I (第4回)」, 11月, 金沢(2015).

【フィジカルアセスメント教育】

チーム医療で活躍する薬剤師として、最適な知識に基づき臨床判断を行い、処方設計を提案できるような薬学的知見を備え、処方解析からシミュレーション教育を深化させ、さらにディブリーフィングの実施を目指す。高度化・複雑化する医療や社会において、自ら学ぶ姿勢を醸成させる。

*PhC取得: ハワイ大学 SimTiki シミュレーションセンター認定

(シミュレーション基盤型教育セミナー, 8月, 東京慈恵会医科大学(2015).)

*日本在宅薬学会認定 バイタルサイン講習会エヴァンジェリスト取得

8) 久保田洋子(講師), 日本アプライド・セラピューティクス学会, 第4回科学的・合理的に薬物療法を実践するためのワークショップ 2013「脂質異常症・脂質異常症におけるエゼチミブの効果」, 7月, 東京(2013).

他 24 件

3. その他特筆すべき研究業績

1) 久保田洋子(代表), 2016年度(後期)在宅医療助成 勇美記念財団, 「台東区統合ケアマネジメント事例検討のための研修会」, 550千円(2017).

2) 久保田洋子(代表), 第5回杉浦地域医療振興助成, 「SHELL (Support Health care, Education and Learning, Lab) ~健康情報拠点としての薬局機能のリエゾンサービス~のモデル構築」, 1300千円(2016).

3) 関根佑子(代表), 久保田洋子(共同), 平成28年度地域志向教育研究経費事業 COC 共同事業「千葉市の保険薬局における健康支援活動に関する実態調査」, (2016).

4) 山本 美智子(代表), 久保田洋子(協力), 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 地域医療におけるリスク・ベネフィットコミュニケーション: 薬局情報支援モデルの構築, (2014-2016).

5) 久保田洋子(代表), 北陸大学特別研究教育助成金一般研究 B, 「HbA1c測定による安全で適正な薬物治療の実施と有効性に関する研究」, 2,900千円(2013-2014).

II. 教育業績

1. 担当授業科目

- | | | |
|-----------|------------------|------|
| 1) 2017年度 | 薬学総合演習Ⅱ(6年) | 3コマ |
| | 5年勉強会(5年) | 3コマ |
| | プレ教育(4年) | 28コマ |
| | 実務事前学習(3年) | 4コマ |
| | 医療における生と死の問題(1年) | |
| | 薬剤師の使命(1年) | |
| | 一般用医薬品学(スポーツ2年) | |
| 2) 2016年度 | 薬学総合演習Ⅱ(6年) | 3コマ |
| | ポスト教育(6年) | 4コマ |
| | 5年勉強会(5年) | 3コマ |

プレ教育(4年) 28コマ
医薬品情報学(3年)
医療における生と死の問題(1年)

3) 2015/2014/2013 年度 北陸大学薬学部

総合薬学演習 (6年) 6コマ

実務実習 (5年) 10コマ

高度医療薬剤師コース (4・5年) 15コマ

実務事前学習 (4年) 80コマ 医療薬学 (4年) 8コマ 調剤学 (4年) 12コマ

薬局薬品学 (3年) 8コマ 薬局経営学 (3年) 7コマ 薬剤学実習 (3年) 30コマ

【教育方法の開発】

1. 2014年度より認知症サポーター教育の導入：長期実務実習での在宅介護体験・実習を円滑に進め、社会にニーズに応えられる薬剤師の育成を目指し、本学においても30年度より導入予定。
2. 2014年度よりe-ラーニング導入：すべての学生が『技能を確実に修得』するため、アバターによる動画コンテンツを活用したe-ラーニングを作成・導入した。学生個々が、いつでもどこでも視聴可能であり、反復による正確なイメージトレーニングと復習を可能にした。この動画コンテンツは薬剤師生涯教育においても活用している。この成果を27年10月に第7回 Asian Association of Schools of Pharmacy (AASP) Conference で発表し、高い評価を得た。本学においても、実務実習事前学習・事前実習、薬剤師の使命および国際交流において活用し、今後さらなる精査を行う予定である。
3. 2014年度より高度医療薬剤師コースにて体験型異文化コミュニケーション、医療人のための交流分析法を導入し、ヒューマニズム教育のさらなる深化を目指した。本学においても、交流分析とコーチングはヒューマニズム教育での実施、実務実習事前実習で導入予定である。

2. その他特筆すべき教育業績

学会・研修会等主催

- 1) 久保田洋子(勇美記念財団在宅医療助成研修会 主催),
第4回, 在宅医療に求められるアサーティブ・コミュニケーション, 11月, 東京(2017).
- 2) 久保田洋子(勇美記念財団在宅医療助成研修会 主催),
第3回 成年後見制度と地域包括ケアシステム, 9月, 東京(2017).
- 3) 久保田洋子(勇美記念財団在宅医療助成研修会 主催),
第2回 地域包括ケアにおけるリハビリテーション職の役割, 7月, 東京(2017).
- 4) 久保田洋子(勇美記念財団在宅医療助成研修会 主催),
第1回 多職種連携と地域の力, 6月, 東京(2017).
- 5) 久保田洋子(主催), 日本アプライド・セラピューティクス学会, 第11回科学的・合理的に薬物療法を
実践するためのワークショップ 2015, 「てんかん」, 11月, 武蔵野大有明キャンパス(2016).
- 6) 久保田洋子(主催), 石川県薬剤師会・北陸大学・簡易懸濁法研究会, 簡易懸濁法研究会 in 金沢,
1月, 金沢(2016).
- 7) 久保田洋子(主催), 日本アプライド・セラピューティクス学会, 第6回科学的・合理的に薬物療法を
実践するためのワークショップ 2015 「関節リウマチ」, 7月, 金沢(2015).
- 8) 久保田洋子(主催), 石川県薬剤師会・北陸大学・簡易懸濁法研究会, 簡易懸濁法研究会 in 金沢,
1月, 金沢(2016).

- 9) 久保田洋子, 第 17 回認定実務実習指導薬剤師のためのワークショップ (薬学教育者ワークショップ) in 北陸, 9 月, 金沢(2014).
- 10) 久保田洋子, 第 2 回北陸地区実務実習指導薬剤師(薬学教育者)アドバンスワークショップ (AWS) レベルアップ研修会, 長期実務実習指導者アドバンス指導,8 月, 金沢(2014).
- 11) 久保田洋子(主催), 日本アプライド・セラピューティクス学会), 第 6 回科学的・合理的に薬物療法を実践するためのワークショップ 2014 「2 型糖尿病」, 5 月, 金沢(2014).
- 12) 久保田洋子(主催), 第 16 回認定実務実習指導薬剤師のためのワークショップ (薬学教育者ワークショップ) in 北陸, 9 月, 北陸大学(2013).

その他

- 1) 日本アプライド・セラピューティクス学会, 評議員(2013-2017).
- 2) 日本医薬品情報学会, 学術雑誌・論文査読 (2013-2017).
- 3) 日本在宅薬学会, 編集委員: 学術雑誌・論文査読(2014-2017).
- 4) 日本在宅薬学会, 評議員(2015-2017).
- 5) 日本私立薬科大学協会・薬剤師国家試験問題検討委員会実務部会, 委員(2013-2015,2017).
- 6) 薬学協議会・医薬品情報学教科担当会議, 委員(2015-2017).
- 7) 薬学共用試験センター・OSCE 実施委員会, モニター(2016- 2017).
- 8) 薬学共用試験センター・CBT 問題管理委員会, 委員(2013-2017).
- 9) 薬学協議会・ヒューマニズム・コミュニケーション教科担当会議, 委員(2013-2015).
- 10) 石川県後発 (ジェネリック) 医薬品使用推進連絡協議会, 委員(2015).